

音楽を

通して

新しい

交流が
生まれる



『高橋真梨子ヘンリーバンド』に参加し、
全国ツアーで多忙な日々を送る
岐阜市出身の野々田万照さん。

21年前、岐阜市に帰郷したことをきっかけに、
地域の文化活動の発展にも力を入れています。

野々田

万照



高校生から70歳まで
幅広い年齢構成

現在、団員は何名で
構成されていますか？

音楽をやりたい人はいた。
ただ機会がなかつただけ

岐阜市民JAZZビッグバンド「樂市
JAZZ樂団」が結成されて10年を迎
えました。きっかけはどんなところか
らスタートしたのですか？

Nonoda Mantell

21年前、長女の誕生をきっかけに
岐阜に帰郷し、住所を岐阜市に移しました。岐阜市は当時、ジャズはもちろん音楽
全体への関心度は決して高くありませんでした。どうせ住むなら音楽が盛んなま
ちに住みたい、盛んでないなら盛んにすれ
ばいいと考えました。すぐに学校や病院へ
の出前演奏を始めたのですが、10年前、岐
阜市民会館による「ジャズ・ポップス教室」
が開催されることになりました。それが
思つたより人が集まって、これならバンドが
結成されるのではないかと考えて、「樂市
JAZZ樂団」が結成されることになりました。
やりたい人はいたわけです。や

高校生から70歳まで
幅広い年齢構成

45人です。高校1年生から70歳
まで幅広い年齢構成です。経験者メインと
初心者が中心になった2つのチームで編成
しています。経験者チームは月1回、初心
者チームは月2回の練習があり、そのほか
に学校、病院、イベントに出張してほぼ毎月
演奏の機会があります。皆さん、普段は学
生や社会人ですからスケジュールを合わせ
るのが難しく、実際のオファーはもととなく
さんいたしているのですが、現状では月1
回の演奏で手一杯になっています。

前演奏に出かけることも多いのですが、た
まうになります。練習は厳しいですが、新し
い発見ができるおもしろさがあるから、み
んな続けているのだと思います。

前演奏に出かけることが多いのですが、た
まうになります。練習は厳しいですが、新し
い発見ができるおもしろさがあるから、み
んな続けているのだと思います。



3年に1度は
全員クビになる

10年間続いているメンバーもいますか？

野々田 13人いますね。ただ、3年に一度、
オーディションを実施していて、メンバー全

員が一旦クビになります。それまでメン
バーだった人もすべて新しいオーディション
で合格しないと、メンバーになれることができ
ません。下剋上ですよ(笑)。3年やると、

友達や家族から「今年もジャズフェス出る
んでしょ」と言われます。生活の一部にな
りますし、愛着もわきます。でもオーディ
ションに落ちれば、参加できません。

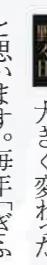


アンサンブルが
持つ魅力

ジャズの魅力はどんな
ところにありますか？

野々田 合奏の楽しさ
ですね。環境、育ち、住
んでいるところ、年齢、性
別がそれぞれ違う人た
ちが集まって、音量、音

色、音程、息継ぎもそろえて1つのかたま
りになる。それが合奏の面白さです。私の
役割は東京で行われている全国レベルの
ジャズを岐阜に還元していくことだとと思
っています。メンバーのみんなにとっては、日か



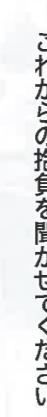
3年で
大きな変化を感じ
ていますか？

野々田 大きく変わった
と思います。毎年「ぎふ
ジャズフェスティバル」を

岐阜市民会館で開催し
ますが、約1,000人の
観客で賑わいます。昨

年は「岐阜市信長公
450周年プロジェクト」も
あってイベントに出る機
会も多くて認知度も相
当高まったと思います。

これまでジャズというと、「暗い」「夜」「タバ
コ・麻薬」のようなイメージがあつたと思
います。ジャズが持つ暗いイメージを取り払
いたかったので、コンテンポラリーな楽曲を
選択するようにしてきました。学校へ出



これから抱負を聞かせてください。

野々田 今までは準備期間だった気がし
ます。これから熟成して、技術ももう少
し伸びていくと思います。昔は公共音楽

としてジャズは演奏できなかつたんです
よ。私たちの時代はエレキギターを持つて
いると不良と言われました。今は、ジャズ
も市民権を得てきました。同じような

活動を続けている他地域のバンドと交流
したいですね。もう1つは、昨年、樂市
JAZZ樂団で、「夢幻・信長と濃姫
」という曲を作りました。今年は樂團
のCDを発表したいと考えています。可
能性は無限にありますので、いろいろなこ

れていなかつただけです。やりたいけど、自
分でバンドを作るのは躊躇してしまう。や
るきっかけがなかつたんでしようね。